

令和3年6月2日

大泉学園緑小学校 保護者 様

練馬区立大泉学園緑小学校  
校長 鈴木 英明

## 学校生活におけるマスク着用と 感染症における対応について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

夏が続いており、体育や休み時間には、汗をかいて体を動かす児童が増えてきました。熱中症による危険も考慮した上での学校生活におけるマスク着用について、指導の指針をお知らせいたします。

なお、感染状況に大きく変化があり、国や都、練馬区からの指示があった場合には、変更する場合があります。その際には、再度お知らせいたします。

### 1 登校時

#### (1) マスクを外した登下校

暑さによる息苦しさを覚える際は、マスクを外して登下校してもよいこととします。

ただし、友達と2m程度の距離をあけること・おしゃべりをしないことを条件とします。

#### (2) 水分補給

車や自転車、人の往来に気を付けて、水筒の中身を立ち止まって飲むようにする。

### 2 学校生活

#### (1) 授業中

基本的には、マスクを着用して学校生活を送ります。ただし、体育などで心拍数が上がる運動をするときには、マスクを外します。

##### 【マスクなし】

新体力テスト（反復横跳び、シャトルランなど）

短距離走、持久走、リレー、マット運動、鉄棒、跳び箱、ゲーム型の運動、水泳など

##### 【マスクあり】

運動前後の話合い活動など（心拍が落ち着いているとき）

#### (2) 休み時間

校庭や体育館で心拍数が上がる遊びをしているときは、マスクを外してもよいこととします。  
（人との距離・友達との会話に注意）

#### (3) 給食の時間

- ・配膳時と片付け時は必ずマスク着用します。食前の手洗いも必ず行います。
- ・おかわりは、担任がアルコール消毒・マスクを着用して行います。

#### (4) 水分補給

- ・密を避けることと衛生面を考慮し、冷水機は水筒のコップなどを使用して飲むことにします。
- ・水筒を持参させてください。（水またはお茶類）
- ・熱中症の危険を回避するために、休み時間ごとに水分補給をさせます。

### 3 保健室の扱い

- (1) 発熱があった児童には、基本的に養護教諭が看護をします。  
電話連絡をしますので、すぐにお迎えをお願いします。保健室に長時間休ませることが困難なため、できるだけ早めのお迎えをお願いします。お迎えは校庭側から来てください。
- (2) 保護者が迎えに来るまでは、保健室で休ませます。
- (3) 発熱の児童が保健室にいる場合には、発熱以外のけがや体調不良の児童は、第2保健室（応接室）で他の教員が手当てをします。

### 4 感染の疑いがあるとき

- (1) 本人または、家族に発熱などの症状がある場合には、学校を休ませるようご配慮ください。その際、状況を学校にお伝えください。（出席停止扱いとなります。）
- (2) お子さんが、PCR検査を行うなど感染の疑いがあることを把握した場合は、分かった時点で学校に必ずご連絡ください。陽性であった場合は、お子さんの学校内での活動状況などに応じて教育委員会と相談して対応の判断をします。（教職員の場合も同様となります。）
- (3) 同居の家族などに感染が分かり、お子さんが濃厚接触者となった場合には、状況が明らかになるまでの間、感染者と最後に濃厚接触をした日から起算しておおよそ2週間の出席停止となります。（保健所からの指示を学校にお知らせください。）
- (4) 出席停止中には、学校が学習課題の配布や電話連絡、放課後のオンライン学習などを通じて、学習支援と心のケアを行います。

【問い合わせ先】

副校長 島田 朋子

電話 3925-7233